

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	湯液学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
『漢方医学』で学んだ漢方処方(方剤)を、実際に生薬を使って再現し、煮出し、試飲していく。 また、その処方に対するの東洋医学的な知識も増やしていく。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点：20 % 授業での取り組み方・課題の提出状況・提出物に対する評価点：10 % 期末課題に対する評価点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントの授業内では扱いきれなかった残り部分や、図書室やインターネットを使った発展学習。						
《履修に当たっての留意点》						
漢方処方を構成している生薬が何であるかと、それぞれの生薬の効能がどのようなものであるかに注意して、知識を増やしていくください。生薬についての知識が増えるにつれて、漢方を学ぶ楽しさは増していくでしょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 授業を 通じての 到達目標	かぜ薬として解釈されている漢方処方剤の説明と作製ができるようになる。		配布プリント		
	各コマに おける 授業予定	麻黄湯・葛根湯・小青竜湯・桂枝湯・香蘇散の中から選んだものを作製・試飲する。				
第2回	講義 授業を 通じての 到達目標	かぜ薬や口腔咽喉薬として解釈されている漢方処方剤の説明と作製ができるようになる。		配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。	
	各コマに おける 授業予定	小柴胡湯・柴胡桂枝湯と桔梗湯・駆風解毒湯(駆風解毒散)・響声破笛丸の中から選んだものを作製・試飲する。				
第3回	講義 授業を 通じての 到達目標	口腔咽喉薬や鎮咳去痰薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。		配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。	
	各コマに おける 授業予定	白虎加人参湯と甘草湯・半夏厚朴湯・柴朴湯・麦門冬湯の中から選んだものを作製・試飲する。				
第4回	講義 授業を 通じての 到達目標	鎮咳去痰薬や解熱鎮痛薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。		配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。	
	各コマに おける 授業予定	麻杏甘石湯・五虎湯・神秘湯と芍薬甘草湯・桂枝加朮附湯・桂枝加苓朮附湯の中から選んだものを作製・試飲する。				
第5回	講義 授業を 通じての 到達目標	解熱鎮痛薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。		配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。	
	各コマに おける 授業予定	薏苡仁湯・麻杏薏甘湯・呉茱萸湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯・釣藤散の中から選んだものを作製・試飲する。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	解熱鎮痛薬や胃の薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	疎経活血湯と平胃散・安中散・六君子湯・人参湯(理中丸)の中から選んだものを作製・試飲する。		
第7回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	腸の薬や痔の薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	大黄甘草湯・大黄牡丹皮湯・麻子仁丸・桂枝加芍薬湯と乙字湯・芍帰膠艾湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第8回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	泌尿器用薬や循環器用薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	猪苓湯・六味丸・八味地黄丸・牛車腎気丸・竜胆瀉肝湯と苓朮甘湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第9回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	循環器用薬や内服アレルギー用薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	三黄瀉心湯・七物降下湯と茵陳蒿湯・十味敗毒湯・消風散・当帰飲子の中から選んだものを作製・試飲する。		
第10回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	内服アレルギー用薬や睡眠導入薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	荊芥連翹湯・辛夷清肺湯・葛根湯加川芎辛夷と抑肝散・抑肝散加陳皮半夏湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	睡眠導入薬や小児鎮静薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	柴胡加竜骨牡蛎湯・桂枝加竜骨牡蛎湯・酸棗仁湯・加味帰脾湯と小建中湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	婦人薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	桃核承気湯・桂枝茯苓丸・加味逍遙散・当帰芍薬散・温経湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	婦人薬や滋養強壮保健薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	四物湯・温清飲・柴胡桂枝乾姜湯・五積散と十全大補湯・補中益気湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	のぼせと肥満症に用いる薬として解釈されている漢方処方剤の説明と調合ができるようになる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。
	各コマにおける授業予定	黄連解毒湯・清上防風湯と防己黄耆湯・防風通聖散・大柴胡湯の中から選んだものを作製・試飲する。		
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	これまでの演習で得た湯液についての知識を最終課題で向上できる。	配布プリント	配布プリントや、図書室やインターネットを使った発展学習。 最終課題対策。
	各コマにおける授業予定	最終課題		